

## 第3次 大津島～徳山航路改善計画

令和4年3月

大津島巡航株式会社

## ○目次○

1. 航路改善計画の概要	
1) 計画の目的	… 1
2) 航路改善計画の考え方	… 1
3) 航路改善計画の期間	… 1
2. 大津島～徳山航路に係る現況	
1) 大津島の状況	
(ア) 人口・世帯の状況	… 2
(イ) 年齢構成、人口分布	… 3
(ウ) 観光関係施設利用者	… 4
(エ) 大津島での主なイベント	… 4
2) 航路の状況	
(ア) 大津島巡航株式会社の概要	… 5
(イ) 航路の状況	… 5
i) 使用船舶の概要	… 5
(ウ) 船員の状況	… 6
(エ) 航路利用状況	… 7
i) 輸送人員の推移	… 7
ii) 航路損益状況	… 8
(1) 燃料潤滑油費及び修繕費の状況	… 9
iii) 補助金交付状況	… 9
3. 島内の航路従事者及び島内交通の状況	… 10
1) 航路従事者	… 10
2) 島内交通	… 10
4. 大津島住民アンケート	… 11
5. 前計画で掲げる施策に対する取組み	… 12
6. 大津島～徳山航路の問題点・課題	… 14
7. 航路改善計画	… 15
1) 基本方針	… 15
2) 実施施策	… 14
3) スケジュール	… 15

## 巻末資料

- 航路図
- 時刻表
- 運賃

## 1. 航路改善計画の概要

### 1) 計画の目的

大津島～徳山航路は、大津島と本土を結ぶ唯一の交通手段であり、大津島住民や観光客の輸送だけでなく、各種車両、生活物資等の生活に必要な物資の輸送など、非常に重要な役割を担っています。

近年、離島航路を取り巻く状況は、過疎化による輸送人員の減少や燃料油の価格の高騰等に伴う欠損額の増大により、一層厳しさを増しており、運航経費を賄えるだけの収益は得られず、航路を維持するためには、国や自治体の補助金に頼らざるを得ない状況となっています。

当社においては、将来の欠損増大及び経営破綻を回避するため、国の求めに応じ、平成23年度に第一次航路改善計画、平成28年度には第二次航路改善計画を策定し、継続した経営改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、令和2年から急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は激減し、運賃収入の大幅な減少を招いています。

このほか、使用船舶においては老朽化が進んでいることなど、持続可能な航路経営に向けた最善の方策を検討する必要があります。

今回、第2次航路改善計画の計画期間終了に伴い、第2次計画の経営改善の結果を検証するとともに、引き続き将来に向けた航路の維持・存続を図るため、新たな「航路改善計画」を策定するものです。

### 2) 航路改善計画の考え方

大津島～徳山航路は、地区住民の通勤、通院、買物等の日常生活を支えるとともに、生活物資や産業活動に必要な物資、さらには、電気、ガス、水道等の社会資本を維持するために必要な資材、機器等を輸送するなど、大変重要な役割を担っています。

このため、本航路を地区住民のライフラインと位置付け、事業者のみならず、行政、地区住民、その他関係機関と協働して、航路の維持、存続に向けた取り組みを行うことが必要であり、本計画はその取り組みの方向性を示すものです。

### 3) 航路改善計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

## 2. 大津島～徳山航路に係る現況

### 1) 大津島の状況

#### (ア) 人口・世帯の状況

大津島地区の人口は、令和4年1月31日現在で205人です。

40年前の昭和56年1月31日の人口が1,206人と比べると83.0%減少しています。また、平成23年1月31日の人口393人と比べても、約47.8%減少しています。

世帯数についても人口と同様に減少が続いており、令和4年1月31日現在151世帯で昭和55年1月31日の世帯数441世帯と比べると65.8%減少しています。

図1 大津島地区の人口推移(昭和55年度から令和3年度)

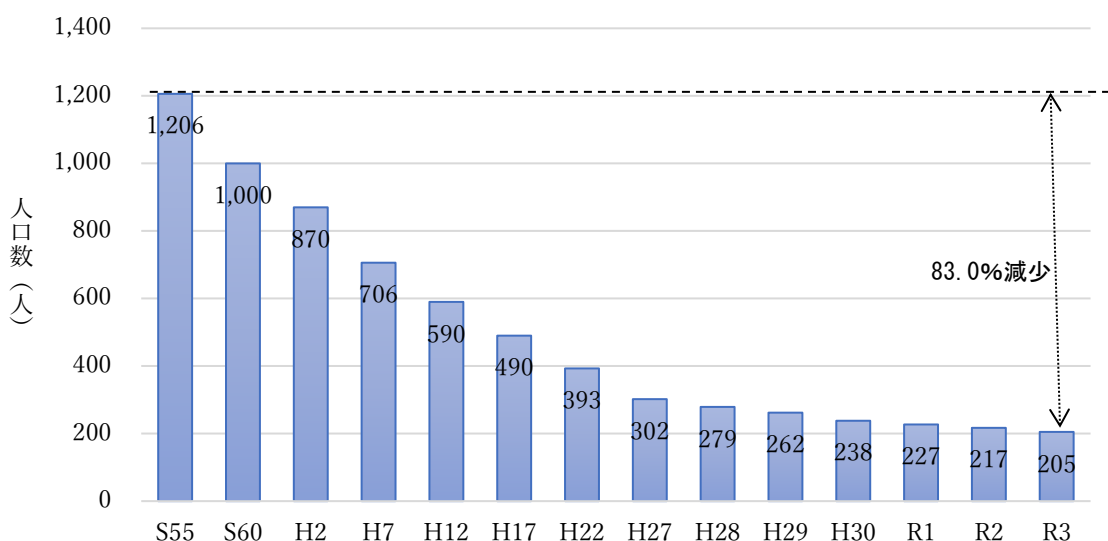
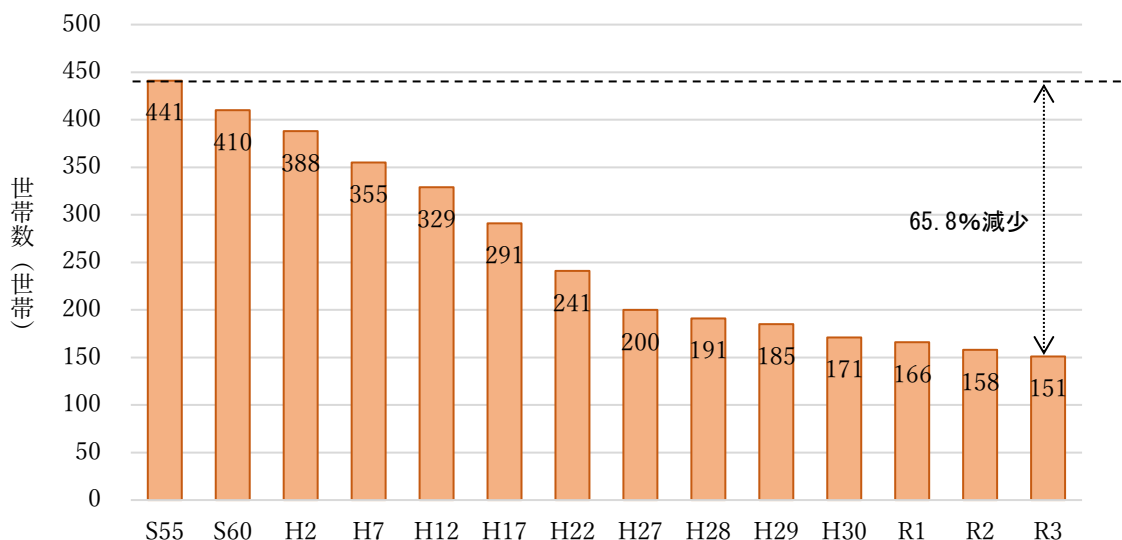


図2 大津島地区の世帯数の推移(昭和55年度から令和3年度)



資料：周南市住民基本台帳  
(各年度1月31日時点)

### (イ) 年齢構成、人口分布

大津島地区の令和4年1月31日現在の年齢構成は以下のとおりです。

14歳以下の人口は1人、一方65歳以上の人口は164人で高齢化率は、80.0%となっています。

また、大津島は大きく7地区に分かれており、馬島地区が57人と最も多く、次いで刈尾地区が40人となっています。

図3 大津島地区人口ピラミッド

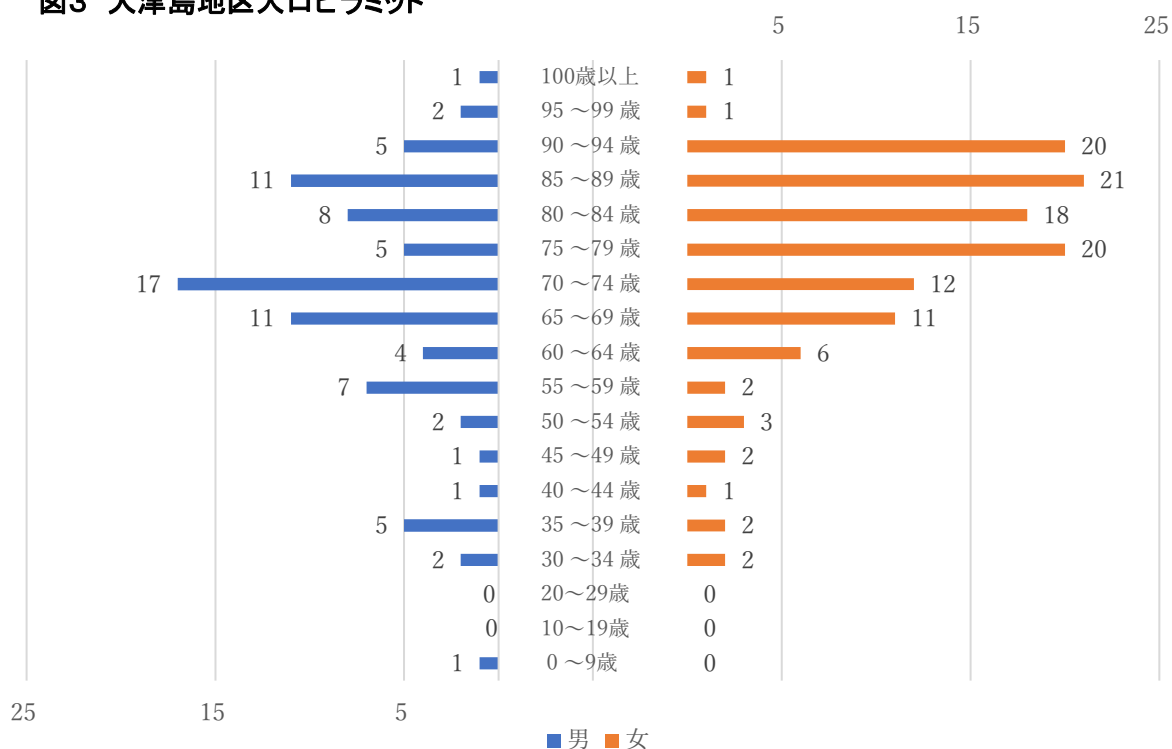


表1 大津島地区別人口

令和4年1月31日現在

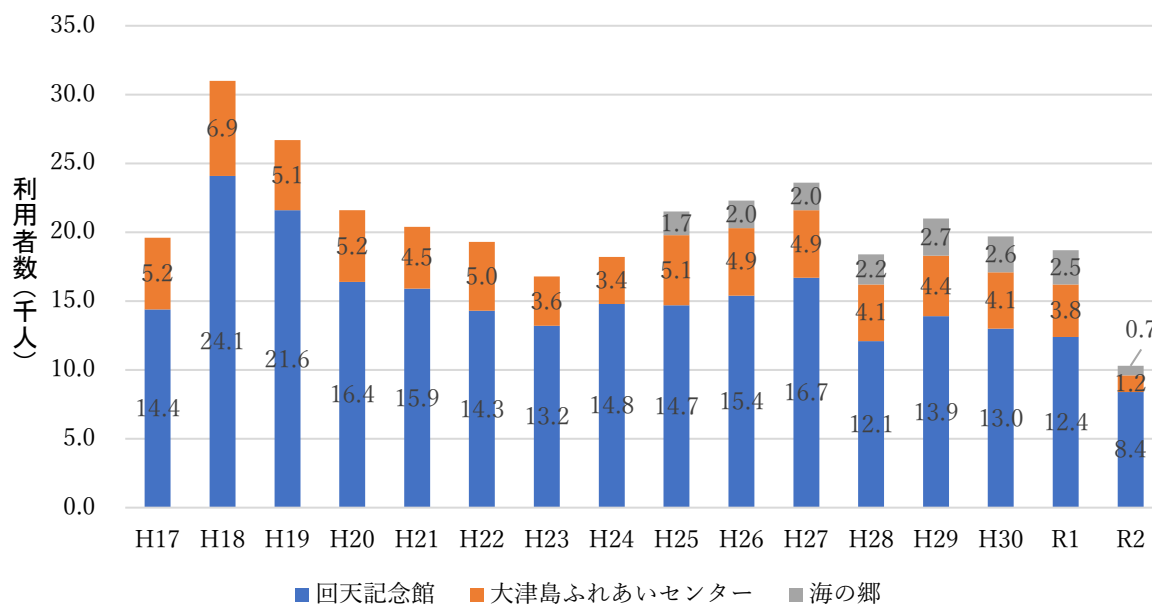
地区名	人口(人)	比率(%)
近江	7	3.4
瀬戸浜	21	10.1
刈尾	40	19.2
本浦	37	18.3
天浦	23	11.1
馬島	57	27.9
柳浦	19	9.6
大津島以外の島の人口		
開拓地	1	0.5
合計	205	

### (ウ) 観光関係施設利用者数

大津島の主要な観光・集客施設として「大津島ふれあいセンター」と「回天記念館」、研修施設「大津島海の郷」が挙げられます。

各施設の利用者数は以下のとおりです。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休館を行っており利用者は大きく減少しています。

図4 観光関係施設利用者数の推移



資料：周南市

### (エ) 大津島での主なイベント

- ・ さくらまつり（4月上旬頃）
- ・ 回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦追悼式（11月）
- ・ 大津島ポテトマラソン（12月上旬）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全てのイベントを中止しています。

## 2) 航路の状況

大津島と徳山港を結ぶ定期航路は、昭和30年10月に新設された大津島巡航株式会社によって運営が開始しましたが、経営は容易ではなく、昭和48年4月に徳山市が大津島住民の福祉と離島振興の目的から出資を行い経営に参画し、現在の第三セクターによる運営を行っています。

現在、「フェリー新大津島」と客船「鼓海Ⅱ」の2隻体制により海運事業を行っており、経営状況については、海運業収益では、過疎化・高齢化による島民の減少等により、旅客運賃や自動車航送等の貨物運賃が減少傾向にあり、海運業費用においては、船舶の老朽化による船舶の法定点検費や修繕に掛かる経費及び原油価格の高騰による燃料潤滑費が増加傾向にあります。

### (ア) 大津島巡航株式会社の概要

(令和4年3月現在)

会社概要	所在地:周南市築港町9番1号 設立:昭和30年10月11日 資本金:16,300千円(うち市出資金13,700千円、市出資割合:約84% その他2,600千円、島民関係者14名) 市の資本参加:昭和48年4月2日
3セク化の経緯	民間会社として設立後、島民の生活交通の確保と会社経営の安定化を図るため、旧徳山市により増資を行い、第3セクター化した。
役員	・代表役員:代表取締役社長 ・役員:取締役5名 ・監査役:2名
従業員数	事務職:4名、船員:11名

### (イ) 航路の状況

#### i) 所有船舶の概要

(令和4年3月現在)

船名	フェリー新大津島	鼓海Ⅱ
船種	汽船	汽船
進水	平成16年	平成19年
船齢	18年	15年
船舶所有者	大津島巡航株	大津島巡航株
総トン数	145	59
機関	ディーゼル	ディーゼル
連続最大出力	1,000PS	734PS×2基
速力	11.3ノット (約21km/h)	20.0ノット (約37km/h)
乗組員定員	4人	3人
旅客定員	200人	150人
搭載車両数	普通車で6台	—

### (ウ) 船員の状況

昨今の運輸・輸送業における船員の担い手不足という背景から、当社においても確保すべき船員数の11名に満たないこともありました。また、船員の高齢化も進んでいる状況です。

図5 船員数の推移

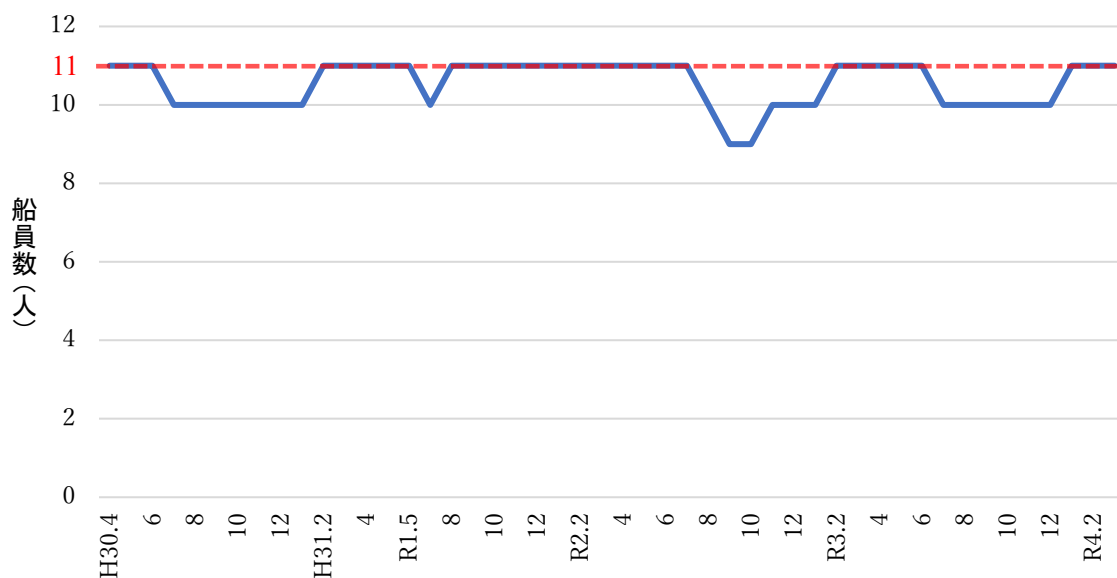
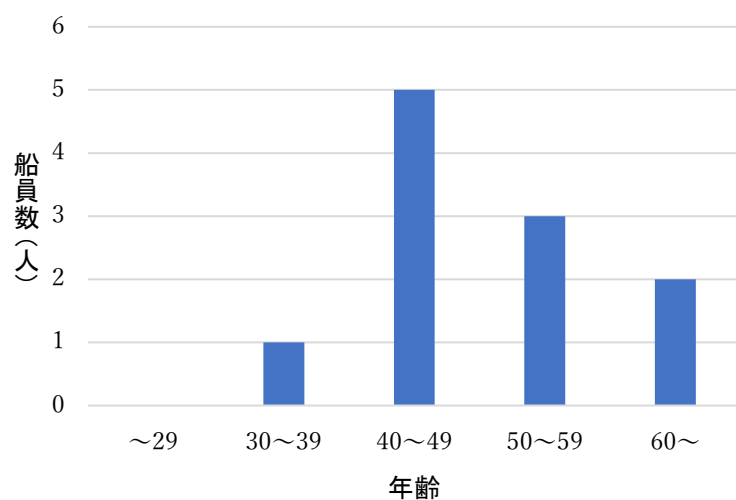


図6 船員の年齢構成

令和4年2月28日現在





(工) 航路利用状況

i) 輸送人員の推移

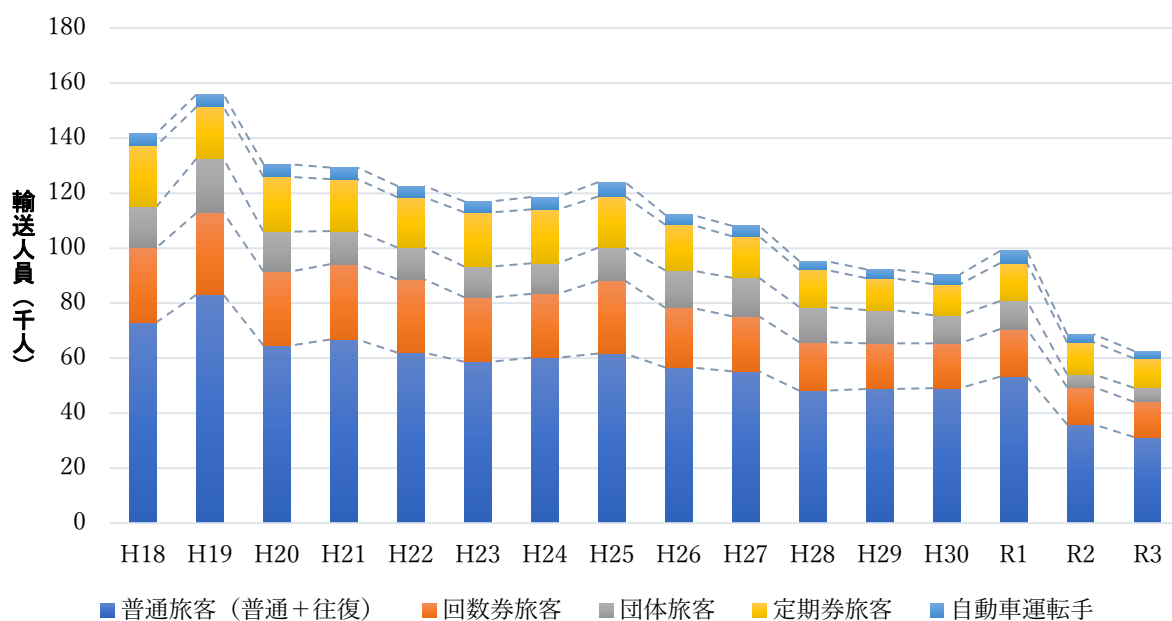
(単位：千人)

事業年度 (期)	H18 (52期)	H19 (53期)	H20 (54期)	H21 (55期)	H22 (56期)	H23 (57期)	H24 (58期)	H25 (59期)	H26 (60期)	H27 (61期)
普通旅客 (普通券+往復券)	73.1	83.1	64.6	66.8	62.0	58.7	60.2	61.7	56.6	55.2
回数券旅客	27.1	29.8	26.9	27.4	26.7	23.4	23.2	26.5	21.7	20.0
団体旅客	14.9	19.7	14.5	12.0	11.5	11.2	11.1	12.0	13.6	14.0
定期券旅客	22.2	18.8	19.9	18.9	18.3	19.7	19.6	18.6	16.6	15.1
自動車運転手 (≒自動車航送台数)	4.5	4.5	4.6	4.2	4.1	4.0	4.5	5.2	3.6	3.8
合計	141.8	155.9	130.5	129.3	122.6	117.0	118.6	124.0	112.1	108.1

事業年度 (期)	H28 (62期)	H29 (63期)	H30 (64期)	H31 (65期)	R2 (66期)	R3 (67期)
普通旅客 (普通券+往復券)	48.2	48.8	49.1	53.3	35.9	31.3
回数券旅客	17.6	16.6	16.3	17.3	13.6	12.8
団体旅客	12.8	12.1	10.2	10.2	4.6	5.1
定期券旅客	13.5	11.6	11.3	13.8	11.6	10.7
自動車運転手 (≒自動車航送台数)	3.2	3.2	3.6	4.4	3.0	2.7
合計	95.3	92.3	90.5	99.0	68.7	62.6

※事業年度は、前年10月から当該年9月末まで。

図7 輸送人員の推移



ii) 航路損益状況

(単位：千円)

事業年度 (期)	H22 (55期)	H23 (57期)	H24 (58期)	H25 (59期)	H26 (60期)	H27 (61期)
海運業収益	94,683	89,507	92,646	100,047	85,713	84,644
(うち運賃収入)	72,132	67,976	68,783	72,336	65,895	63,668
海運業費用	246,587	230,121	241,296	247,661	247,264	225,779
(うち営業費用)	216,397	198,755	213,200	219,552	218,260	195,985
(うち一般管理費)	30,190	31,366	28,096	28,109	29,004	29,794
営業利益	△151,904	△140,614	△148,650	△147,614	△161,551	△141,135

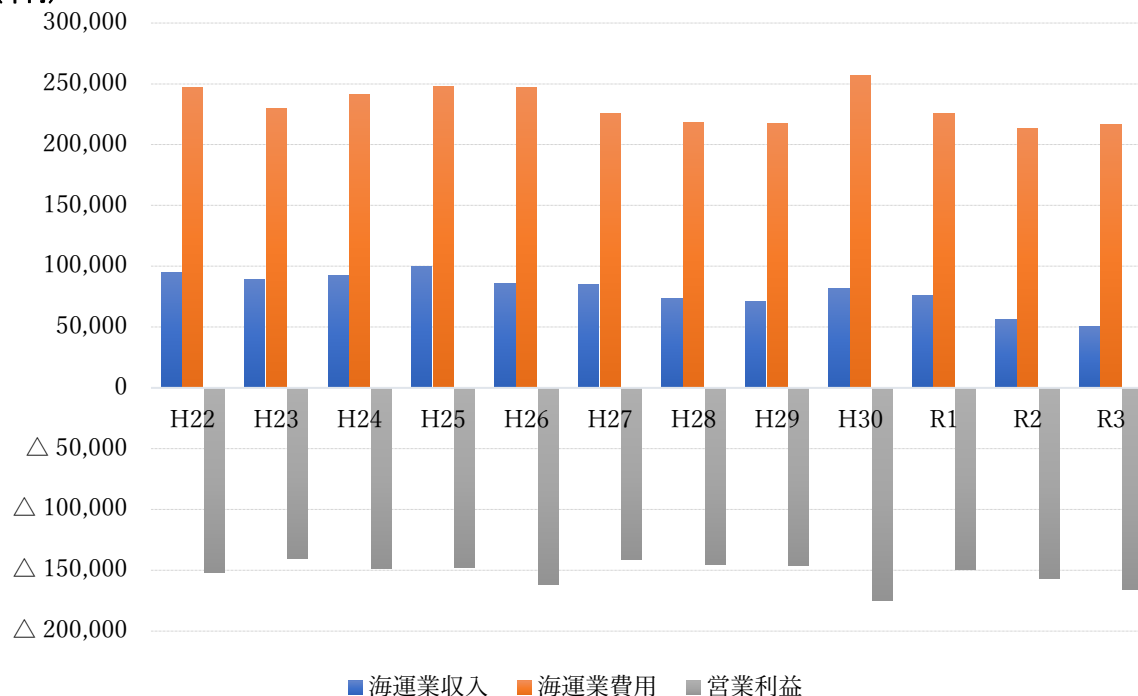
  

事業年度 (期)	H28 (62期)	H29 (63期)	H30 (64期)	H31/R1 (65期)	R2 (66期)	R3 (67期)
海運業収益	73,405	71,345	81,460	76,324	56,514	50,255
(うち運賃収入)	56,204	54,654	53,068	55,787	39,584	36,357
海運業費用	218,209	217,745	256,650	225,891	213,488	216,369
(うち営業費用)	173,667	189,959	208,882	199,930	178,978	183,097
(うち一般管理費)	44,542	27,786	47,768	25,961	34,510	33,272
営業利益	△144,804	△146,400	△175,190	△149,567	△156,974	△166,114

※事業年度は、前年10月から当該年9月末まで。

図8 航路損益状況の推移

(千円)

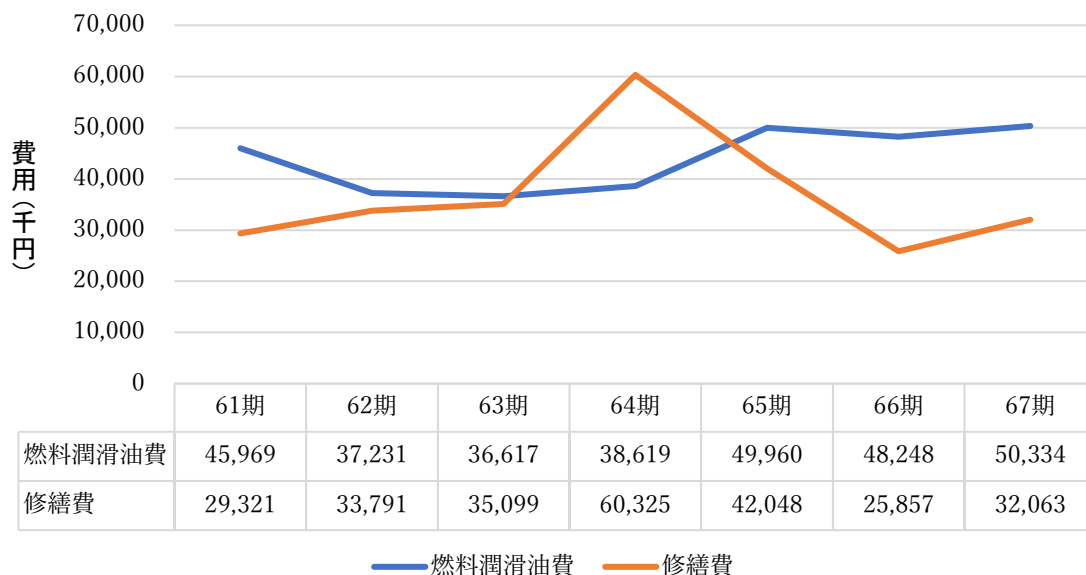


### (1) 燃料潤滑油費及び修繕費の状況

燃料潤滑油費は長期的な原油価格の高騰から上昇傾向にあります。

また、修繕費は、64期にフェリー新大津島の大規模な修繕により一時的な支出がありましたが、長期的には3千万円前後で推移しています。

図9 燃料潤滑油費及び修繕費の推移

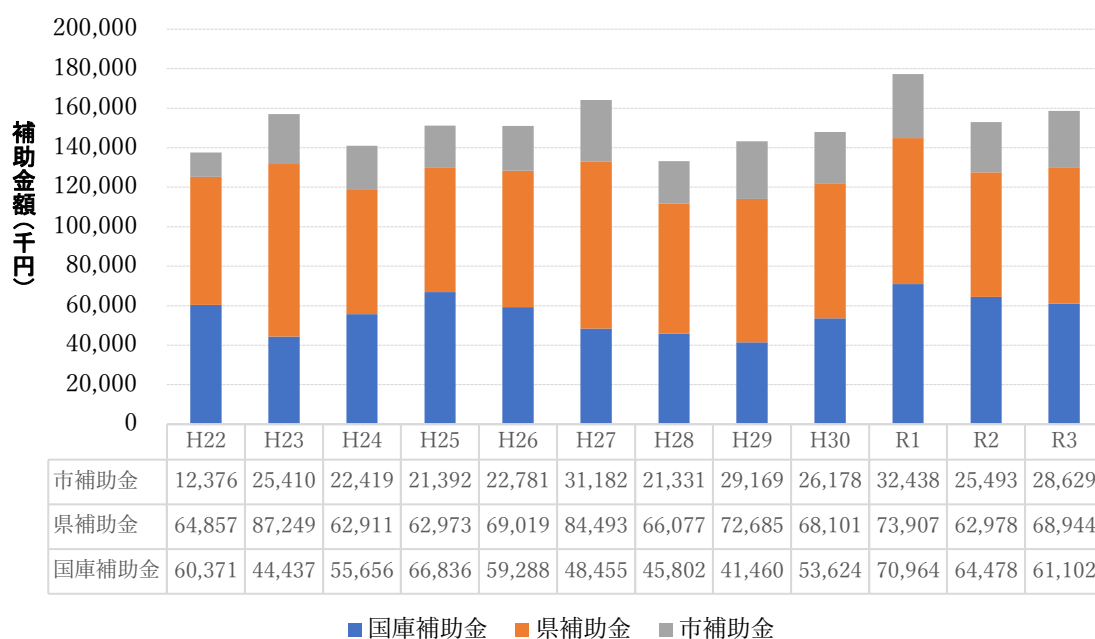


### iii) 補助金交付状況

離島航路の運営費補助金は、国、県、市から交付されています。補助金は前期の事業年度の実績に応じて当該年度の額が決定されます。個々の年度において増減はありますが、長期的には増加傾向となっています。

※令和3年度補助金額（66期（R1.10.1～R2.9.30の実績による欠損額））

図10 離島航路の運営費補助金の推移



### 3. 島内の航路従事者及び島内交通の状況

#### 1) 航路従事者

旅客船を港に停泊するためには「綱とり」が必要です。現在、大津島住民によって綱とりを行っていますが島民の高齢化や担い手不足により、島民の方の負担となっています。

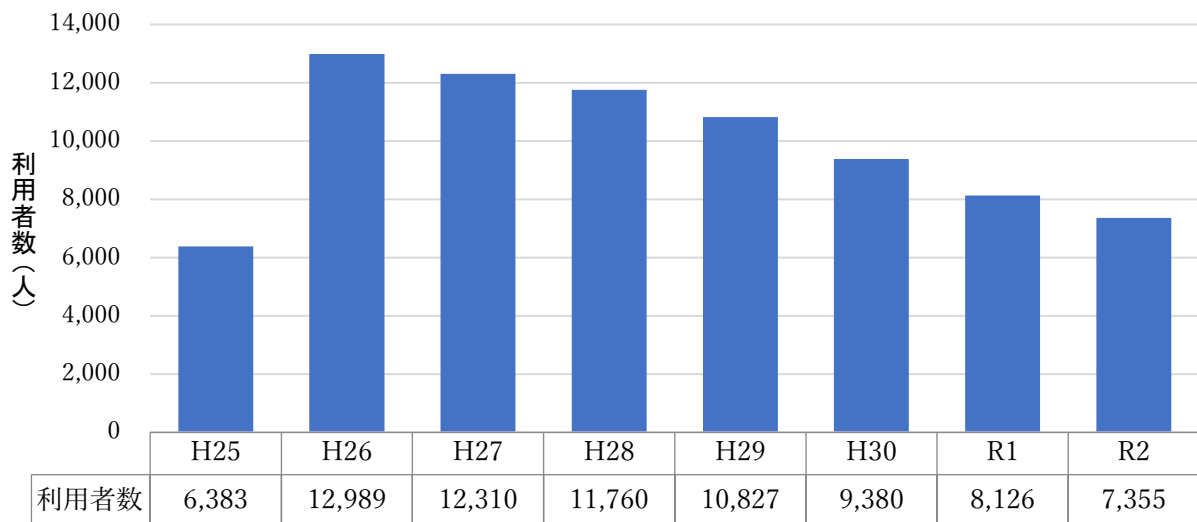
表2 各港の綱とりの年齢構成 令和4年1月31日現在

	人数	構成	年齢
徳山港	5	巡航職員	
刈尾港	2	島民	60代
馬島港	2	島民	70代、30代
瀬戸浜港	3	島民	80代、70代、60代
本浦港	3	島民	70代、60代

#### 2) 島内交通

市においては、平成25年度から患者等輸送車をコミュニティ交通に位置付け、自宅付近から寄港地への移動や診療所への通院、買い物等の移動手段としてコミュニティバスを運行しています。人口減少に伴い減少傾向にはありますが、多くの方が利用されており、島民の方にとっては必要不可欠な移動手段となっています。

図11 大津島コミュニティバス利用者数の推移



※H25. 10. 1 から開始のため H25 年度は半年分のみ計上

#### 4. 大津島住民アンケート

令和2年度に周南市において実施した大津島住民アンケートから、大津島地区の移動ニーズや航路に対する改善点は以下のとおりです。

図 12 買い物先への訪問回数

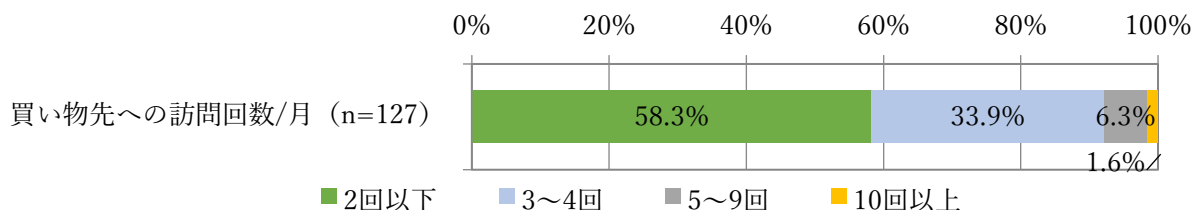


図 13 買い物先への移動手段（複数回答）

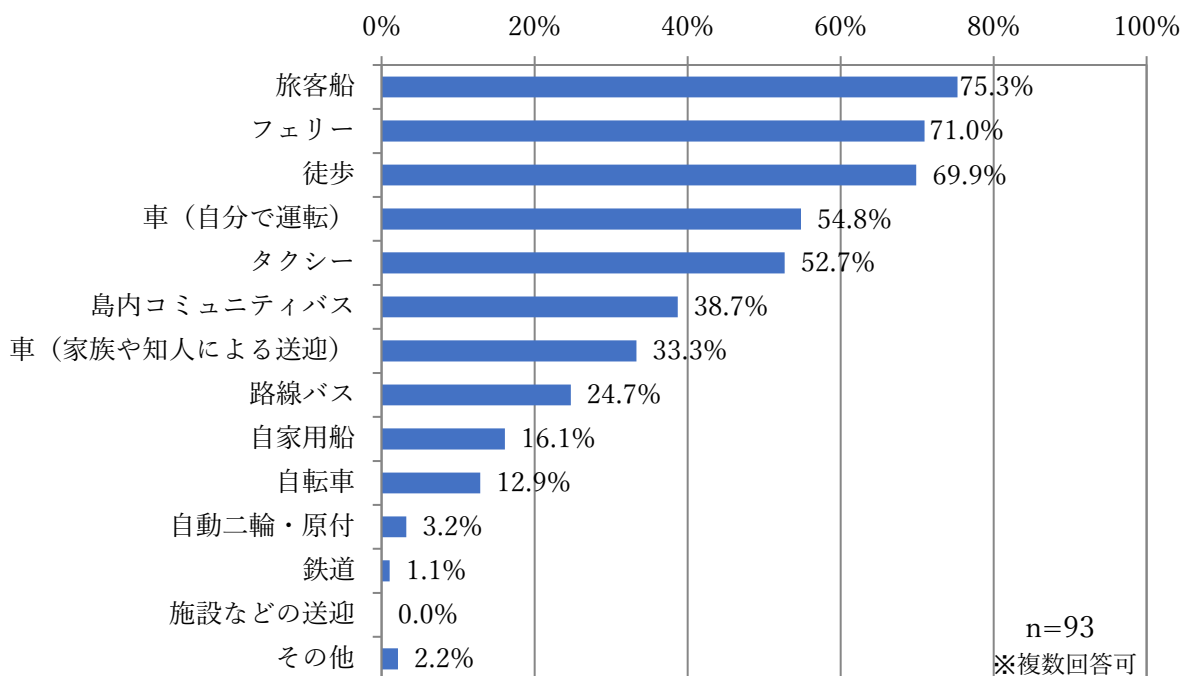
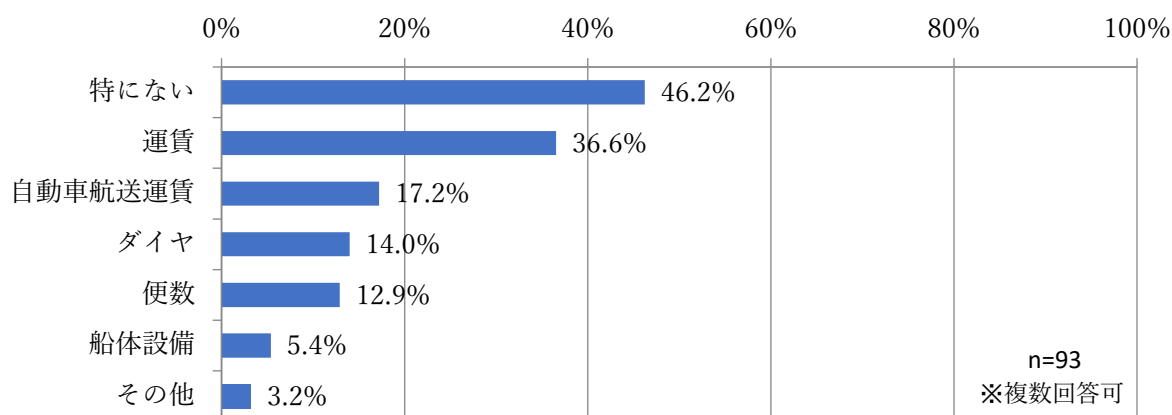


図 14 大津島～徳山航路に対する改善点



## 5. 前計画で掲げる施策に対する取組み

前計画で掲げられた施策に対し、当社が実施した取組みとその結果については次のとおりです。

### 基本方針1 交流人口・観光人口の拡大

#### ○多様な主体との連携強化

旅客海運事業者と乗船契約を締結し、団体旅行客の確保を推進しました。

「大津島ポテトマラソン」等のイベント時には臨時便を運航し、参加者が島へ円滑に渡航できるように体制を整え、大津島巡航(株)としてイベントなどの実行委員への参加や協賛なども行いました。

また、インターネットを活用し、当社のホームページをリニューアルし、回天記念館や大津島ふれあいセンター等の島内施設情報や巡航船の運航状況等を掲載するほか、公式ツイッターの新設や山口県の離島航路のフェイスブックに掲載する等情報発信に努めました。

計画期間中、船員の不足や新型コロナウイルスの影響で実施できない年度もありましたが、新たにビールなどの酒類を提供するビアクルーズを開始するなどチャーター船を運航して収益の増加に努めました。

#### <チャーター船の運航状況>

年度	運航回数	利用者数	貸切料収入
令和2年度(66期)	7回	717人	805,200円
令和1年度(65期)	8回	717人	852,000円
平成30年度(64期)	3回	278.5人	455,900円
平成29年度(63期)	14回	701.5人	1,279,800円
平成28年度(62期)	12回	620.5人	1,225,500円

夏季特別企画 / 周南サンセット & 工場夜景  
ビアクルーズ  
6/28金 7/26金 8/23金

生ビールを飲みながら  
船上から周南の工場夜景を  
楽しみませんか。

料金  
大人  
おつまみ付き  
**4,980円**  
(子供、おつまみ別)

定員 **90名**

所要時間 約1時間

申込期間 6/28(金)～8/23(金)

申込方法 電話予約・インターネット予約

電話予約 0845-21-1111

インターネット予約 周南観光コンベンション協会

申込料 300円

お申し込み 要

キャンセル料 300円

主催 (一財)周南観光コンベンション協会

協賛 大津島巡航(株) アサヒビール株式会社 asahi

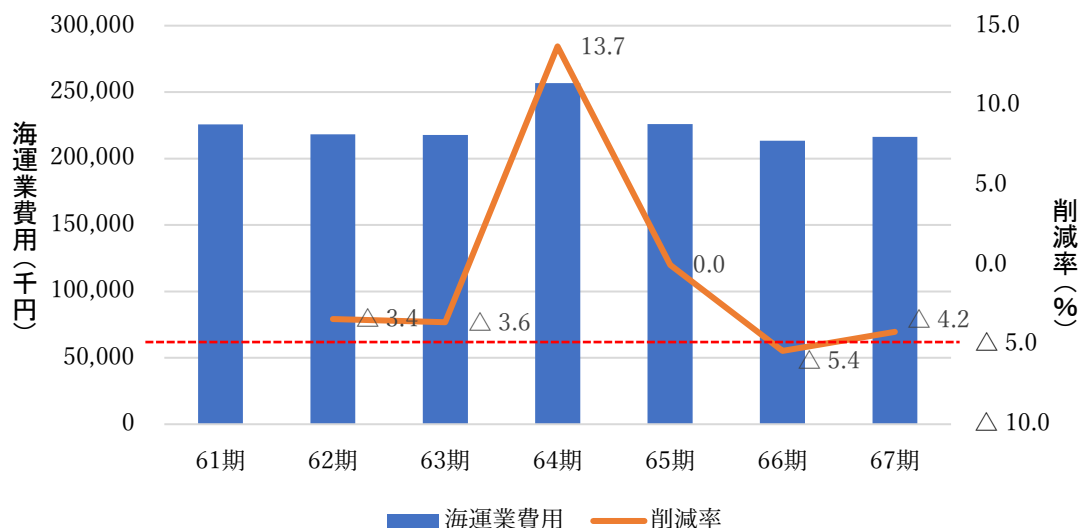
R元年度実施  
(一財)周南観光コンベンション協会  
主催のビアクルーズポスター

## 基本方針2 徹底した支出の削減

### ○運航体制の見直しによる効率化の検討

燃料費高騰や船舶修繕費の影響を受けた年度があるものの、支出削減等の取り組みにより61期（平成26年10月～平成27年9月）ベースから5%の経費削減を66期（令和1年10月～令和2年9月）時点5.4%減で達成しました。

図15 海運業費用の削減率



(単位 千円)

事業年度	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
海運業収益(A)	84,644	73,405	71,345	81,460	76,324	56,513	50,255
（うち旅客運賃収入）	63,668	56,204	54,654	52,920	49,279	39,583	36,357
海運業費用(B)	195,985	173,667	189,959	208,882	199,930	178,978	183,097
（うち船員費）	75,055	80,091	108,646	89,140	88,165	93,731	90,873
（うち燃料潤滑油費）	42,564	34,418	33,904	35,759	46,259	43,885	45,758
（うち船舶修繕費）	27,149	31,288	32,665	55,819	38,933	23,506	29,148
一般管理費(C)	29,794	44,542	27,786	47,768	25,961	34,510	33,272
営業損益(A-B-C)	-141,134	-144,803	-146,401	-175,190	-149,567	-156,975	-166,113
費用指数	1.00	0.97	0.96	1.14	1.00	0.95	0.96

## 基本方針3 安全で快適な航路利用環境の提供

### ○利用者満足度の向上

大津島住民や観光利用の皆さまに「おもてなしの精神」での接客を心がけるため、毎年度、入社した事務員や船員に対し、職場の上司からの接客研修を実施し接客サービスの質の向上に努めました。

### ○利用者ニーズに応じたダイヤ設定

平成29年度に大津島住民アンケートを実施し、航路の利用内容やニーズをお伺いしました。ダイヤ変更については、島民の生活に大きく影響するため、今後の運航体制の見直しに合わせて、運航内容ともに検討をいたします。

## 6. 大津島～徳山航路の問題点・課題

これまでの結果を踏まえ、大津島～徳山航路における問題点・課題を以下のとおり整理しました。

- ① 大津島の高齢化の進行に伴い、航路を維持するための綱とりの確保が困難な状況となっています。
- ② 所有船舶の老朽化により、法定点検の費用や修繕費が増加しており、一般的には船齢20年程度で船舶建造の検討を行うことから、当社においても新船建造の検討を行う時期に来ています。
- ③ 旅客者数や貨物輸送量等が長期的な減少傾向にあることから、適正な輸送量を確保しながら、経営の安定化を図るため、1隻体制や寄港地の集約なども視野に効率的な運航の検討を行う必要があります。
- ④ 新型コロナウイルスの影響により観光客が激減しており、収入確保に向け島外からの交流人口を拡大する必要があるため、より一層多様な主体と連携を行う必要があります。
- ⑤ 公共交通機関である航路運航を行う事業者として、利用者の立場に立ったサービス提供や安心安全の確保が引き続き求められています。



## 7. 航路改善計画

### 1) 基本方針

本計画の課題解決に向けた基本方針を以下の通り設定します。

#### **基本方針1 運航体制の見直し** (課題①②③)

効率化を図るとともに利用者ニーズを踏まえた運航内容とし、持続可能な運航を確保します。

#### **基本方針2 交流人口・観光人口の拡大** (課題④)

周南市の観光部局をはじめとする多様な主体との連携を図り、サービスを提供することによって、交流人口や観光人口を拡大し航路の利用増を図ります。

#### **基本方針3 安全で快適な航路利用環境の提供** (課題⑤)

「航路を気持ちよく利用できること」を利用者の最大ニーズと位置付け、安全で快適な航路利用環境の提供に努めます。

### 2) 実施施策

基本方針を実現するための具体的な施策を次の通りとし実施します。

#### **基本方針1 運航体制の見直し**

##### ○運航体制の見直しによる効率化の検討

現行のフェリー・旅客船の2隻体制から1隻体制の見直しについて検討するほか、船舶費、船員費、燃料費などの支出削減に取り組みます。

また、網とりの課題解決や輸送量に応じた運航とするために、寄港地の集約についても検討を行います。

検討にあたっては、島民の生活交通としての役割を確保するため、大津島住民のご意見を伺いながら、市、県、国、その他関係機関とも連携を図り持続可能な運航の実現に努めます。

#### **基本方針2 交流人口・観光人口の拡大**

##### ○多様な主体との連携強化

周南市の観光部局や一般財団法人周南観光コンベンション協会、旅客海運業者等との連携を強化し、大津島でのイベントや工場夜景等の観光資源を市内外に発信します。また、臨時便やチャーター便の運航による交流人口や観光人口の増加を図ります。

### 基本方針3 安全で快適な航路利用環境の提供

#### ○利用者満足度の向上及びコロナ対策

住民や大津島を訪れる方に「おもてなしの精神」での接客を心がけるため、船員、事務員に接遇教育を実施します。また、新型コロナウイルス感染症が収束するまで、引き続き対策を講じてまいります。

#### ○快適な待合環境の確保

航路の利用する全ての方に快適な待合環境を提供するため、馬島待合所や令和4年度に整備が予定されている刈尾待合所等の環境維持に努めてまいります。

### 3) スケジュール

各施策の実施スケジュールは次のとおりです。

基本方針1 運航体制の見直し	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度							
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
運航体制の見直しによる効率化の検討	運航内容協議				協議会申請				経営状況等調査				新船建造/運航内容見直し											
	・島民との意見交換、運輸局との事前協議								・新船建造								・各種手続き							
	・県協議会との調整								・設計及び事業費算定								・就航準備～就航							

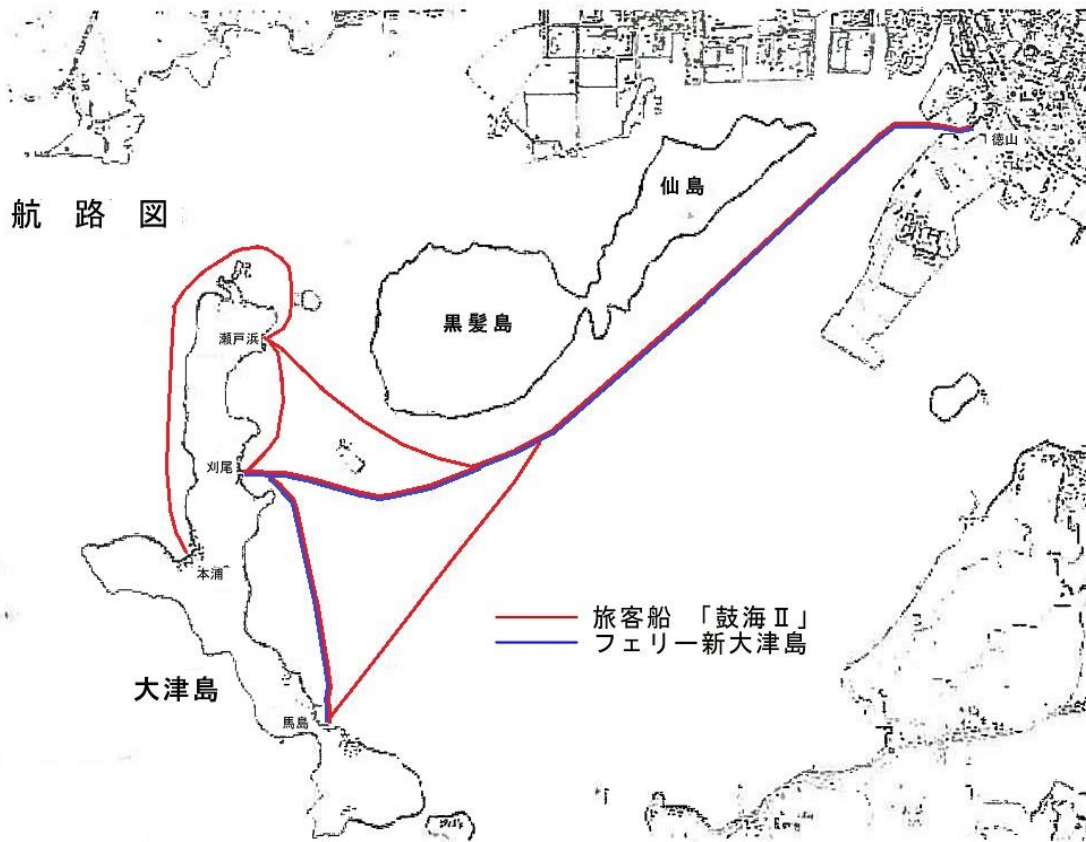
  

基本方針2 交流人口・観光人口の拡大	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度							
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
多様な主体との連携強化																								
	・各種団体との協議・連携																							
	・臨時便やチャーター便の実施																							

基本方針3 安全で快適な航路利用環境の提供	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度							
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
利用者満足度の向上とコロナ対策																								
快適な待合環境の確保																								
	・新型コロナウイルス感染症対策の継続																							
	・定期的な職員研修の実施																							
	・待合所の環境美化の取組み																							

○航路図



航路の起点、寄港地、終点及び距離、所要時間

	起点	寄港地			終点	合計
港名	馬島	刈尾			徳山	フェリー
各港間距離		3.9km		9.7km		13.6km
所要時間		14分		30分		44分
港名	馬島	刈尾	瀬戸浜	徳山	鼓海Ⅱ	
各港間距離	3.9km	1.6km		9.7km	15.2km	
所要時間	9分	6分		19分	34分	
港名	馬島	刈尾			徳山	鼓海Ⅱ
各港間距離		3.9km		9.7km		13.6km
所要時間		9分		17分		26分
港名	本浦	瀬戸浜	刈尾	馬島	徳山	鼓海Ⅱ
各港間距離	5.0km	1.6km	3.9km	10.4km		20.9km
所要時間	12分	6分	9分	18分		45分

○時刻表（平成 25 年 10 月 1 日改定）

●大津島⇒徳山

便	就航船	本浦	馬島	刈尾	瀬戸浜	徳山
1	鼓海Ⅱ	6:30	6:57	6:48	6:42	7:15
2	フェリー新大津島		9:00	9:14		9:44
3	鼓海Ⅱ	10:40	11:07	10:58	10:52	11:25
4	フェリー新大津島		13:00	13:14		13:44
5	鼓海Ⅱ		14:00	14:09		14:26
6	鼓海Ⅱ		16:40	16:49	16:55	17:14
7	フェリー新大津島		17:40	17:54		18:24

●徳山⇒大津島

便	就航船	徳山	瀬戸浜	刈尾	馬島	本浦
1	フェリー新大津島	7:40		8:10	8:24	
2	鼓海Ⅱ	9:30	10:03	9:57	9:48	10:15
3	フェリー新大津島	10:40		11:10	11:24	
4	鼓海Ⅱ	13:10		13:27	13:36	
5	鼓海Ⅱ	14:40	14:59	15:05	15:14	
6	フェリー新大津島	16:10		16:40	16:54	
7	鼓海Ⅱ	18:50	19:23	19:17	19:08	19:35

○運賃（令和元年 10 月 1 日改定）

旅客運賃（単位：円）

本浦					
520	馬島				
440	280	刈尾			
340	380	170	瀬戸浜		
720	720	720	720	徳山	

自動車航送運賃

車両の長さ	運賃（円）	車両の長さ	運賃（円）
3m未満	3,080	7m以上8m未満	9,120
3m以上4m未満	3,550	8m以上9m未満	10,750
4m以上5m未満	4,530	9m以上10m未満	12,390
5m以上6m未満	5,920	10m以上	12,390円に1m増す毎に1,640円を加算した額
6m以上7m未満	7,620		

## 手荷物運賃

区 分	摘 要	運 賃 (円)
受託手荷物	重量が30kg以下3辺の和が2m以下の手荷物	190
特殊手荷物	自転車、小児用の車その他道路運送車両法第2条第4項の軽車両	280
	原動機付自転車	570
	二輪自動車（排気量750cc未満）	850
	二輪自動車（排気量750cc以上）	1,130

## 小荷物運賃

摘 要	重 量 区 分	運 賃 (円)
3辺の和が2m以内で重量が30kg以下の物	10kg以下	150
	10kg超20kg以下	310
	20kg超30kg以下	470

## 定期旅客運賃

通勤定期（1ヶ月）

区 間	運 賃 (円)
大津島～徳山	25,920

通学定期（1ヶ月）

区 間	運 賃 (円)
大津島～徳山	17,280